

令和6年7月定例教育委員会

○ 開催概要

○ 開催日時	令和6年7月29日（月）14時30分～16時15分		
○ 開催場所	県庁22階 教育委員室		
○ 出席者 （委員等）	教育長	柳 橋	常 喜
	教育長職務代理者	中 庭	陽 子
	委員	中 田	俊 之
	委員	市 原	健 一
	委員	富 田	敬 子
	委員	幡 谷	史 朗
	※欠席：庄司委員		
（事務局職員）	総務企画部長	川和田	由紀子
	学校教育部長	庄 司	一 裕
	総務課長	宮 崎	薫
	教育企画室長	富 樫	仁 彰
	財務課長	山 本	晃 裕
	生涯学習課長	中 村	珠 美
	文化課長	真 木	陽 水
	私学振興室長	平 賀	靖
	教育改革課長	阿 部	将 昭
	義務教育課長	若 松	裕 一
	高校教育課長	深 澤	美紀代
	特別支援教育課長	仲 野	祐 二
	保健体育課長	高 橋	清

○ 議 案

議 題	案 件 名	担 当 課	公開・ 非公開の別
1 報告			
1	令和7年度採用茨城県立高等学校等校長選考試験について（中高一貫教育学校等における校長の公募選考）	高校教育課	公 開
2 協議			
1	令和6年度（令和5年度対象）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	総務課	非公開
3 議案			
第15号議案	ミュージアムパーク茨城県自然博物館協議会委員の解任及び任命について	文化課	非公開
第16号議案	茨城県スポーツ推進審議会委員の任命について	保健体育課	非公開

第 17 号議案	教職員の人事について	教育改革課	非公開
第 18 号議案	教職員の人事について	教育改革課	非公開
第 19 号議案	教職員の人事について	教育改革課	非公開

※非公開の議案等については、会議録は公開されません。

○ 会議録

1 開会

教育長による開会の宣言後、非公開審議項目について提案し、各委員から了承された。

2 議事

(1) 公開審議

発言者	発言内容
【報告1】	
令和7年度採用茨城県立高等学校等校長選考試験について（中高一貫教育学校等における校長の公募選考）	
高校教育課長	資料①に基づき説明
(主な質疑・意見等)	
教育長	説明の確認ですが、水海道第一高校で更新を予定しないのは、水海道第一高校の校長先生は、任期の4年、出向という形で就任されているためという理解でよろしいですか。
高校教育課長	はい、おっしゃる通りです。
市原委員	資料の目的の記載に、中高一貫教育及び特色ある高校の校長公募によりとあるのですが、必ずしもこういう目的だけではなく、問題を抱えている学校に民間の人材を採用して、問題の解決等を図るようなことは考えないのでしょうか。
高校教育課長	まずは中高一貫教育校と特色ある高校において、マネジメント力のある民間の力を入れていくという形で現在進めております。
市原委員	たくさん的高校で民間の人材を登用して4年経ったわけなので、ある程度効果が出てきていると思います。登用したことによって、どのような点が改善されたのか、例えばこういう成績が伸びたなど成果を目に見えるような形で評価することはできますか。
高校教育課長	民間出身の校長先生には、校長会など様々な会議で、それぞれの視点で講演会等を行っていただいております。 人脈の広さという部分では、様々な企業等、教員にはない外部の力を借りるとい部分で、かなり先進的に行っていただいているので、その様子を見て、他の校長先生は学ぶところは大きいと思います。それを数値に表すというのは、なかなか難しい点がございます。
市原委員	進学校が多いわけなので、こういう校長先生が就任したことによって、今まで行けなかったような学校に進学したとか、海外に行って自発的に活動するような子が増えたとか、評価の方法はあるのではないかと思います。ある程度目に見えた形で成果を挙げられるように考えるべきではないでしょうか。
市原委員	今後エン・ジャパンが運営する転職サイトを通して募集するというところで、これはつくばサイエンス高校の副校長先生の問題が大きなきっかけだと思います。 今後バックグラウンドとかこういうところを民間の事業者に頼んで、しっかり見てもらおうということだろうと思うのですが、こういうことがあると、民間校長の登用自体にもいろいろ影響してくると思うので、

	<p>ただ単に業者任せではなくて、県としてもしっかりとチェックするようにお願いしたいと思います。</p>
富田委員	<p>市原委員が触れた内容に関連して、選考方法のリファレンスチェック、バックグラウンドチェックの詳細をご説明いただけますでしょうか。</p> <p>それと個人面接がございしますが、面接官と個人とのマンツーマンのような形での面談になると思いますが、一対一の面接のみならず、ある程度のレベルで上がってきた候補者の方たちが、グループになって議論をすると、その人が他の人とどういく関係性を持つかや、他の人の意見に聞く耳を持つかなど違った形で人物評価ができると思います。今回は間に合わないかもしれませんが、今後導入してもいいのかなと思います。</p>
高校教育課長	<p>リファレンスチェックは、その方の前職場での同僚の方などに、その方の職務遂行能力や人物像などの評価をいただくというチェックになります。</p> <p>そして、バックグラウンドチェックは、第三者機関により虚偽・詐称・訴訟履歴の有無などを調査してもらい、それを材料として総合的に判断するというものになります。</p> <p>今回初めてバックグラウンドチェックを取り入れております。</p>
富田委員	<p>そのリファレンスとして名前が挙がる方は、受験者が指定するんですよね。この辺がとても難しいところだと思います。人間ですから当然自分のことを悪く言う過去の上司ではなく、自分をサポートしてくれるような人を指定すると思います。その辺、制度的に限界があるなと感じました。</p>
中田委員	<p>私も成果の評価は必要だと思います。</p> <p>質問ですが、令和4年度に太田第一高校を退職された校長先生の退職理由と、令和4年採用のうち水海道第一高校だけ今回更新の対象となった理由、その2点を教えていただけますでしょうか。</p>
高校教育課長	<p>新潟大学脳科学研究所の研究者であった太田第一高校の鈴木校長先生は一身上の都合を理由に退職されております。</p> <p>水海道第一高校の福田校長先生は、もともと電通から出向という形で、期限を4年と決められて採用させていただいておりますので、最初の約束通り4年が終わったらお戻りになります。そのため、福田校長先生の期限としては令和8年までですけれども、民間の方が次に入る場合は、最初の1年は副校長先生で入られますので、福田校長先生が校長先生でいるうちに採用したいので、今回公募の対象としております。</p>
中庭委員	<p>2点ほど質問させてください。</p> <p>1点は、市原委員や中田委員が質問されたことと同じようなことですが、成果について、校長先生自身がある程度客観的な目標値を立てることもいいと思うんですが、達成できたかどうかを示されるのがやはり必要かなと思います。</p> <p>同時に、民間の校長先生が入ったことによって、学校がどのように変わったのか、生徒や保護者の受けとめ方についてアンケートなどを取られると、変化がわかり、私たちもよく理解ができるのかなと思います。</p>

	<p>地域の中には、公募された校長先生で大丈夫なのかといった意見もまだまだありますので、きちんと成果を伝えることができれば、なお民間人の校長先生方も前向きに取り組んでいけるんじゃないかなと思います。</p> <p>もう1つは、水海道第一高校で、任期を終えて民間に戻るといことですが、校長先生が変わり、学校の方針ががらりと変わると非常に混乱すると思います。</p> <p>校長先生が積極的にいろいろ取り組まれたものが、新しい方になった場合に、どのように継続されるのか、又は、全く違う視点の方を採用するのか、その辺のお考えをお聞きしたいと思います。</p>
高校教育課長	<p>前半のアンケートについては、生徒や保護者に対し学校で独自に行っております。ただし、分析や県としての評価フォローについては、今後考えていきたいと思っています。</p> <p>後半の水海道第一高校の継続性については、現在の校長先生が前向きに取り組んでくださっていて、生徒たちも盛り上がっているのです、これから選考試験になりますが、継続性という部分も加味しながら臨んでいきたいと思っています。</p>
中庭委員	<p>継続性というのは非常に難しいものだと思います。特に民間の方を採用する場合には、バックグラウンドも人脈も違うと思います。新たに校長先生が配属される時に、これまでの継続がいいのか、それとも違う視点が必要なのか、この辺りの評価や方針を県教育委員会でしっかりと定めた上で、選考していただければいいなと思います。</p>
高校教育課長	<p>現在の状態がいいのか悪いのか、続けていいのか悪いのか、それぞれの学校の先生方や生徒の評価をしっかりと見定めていきたいと思っています。</p>
教育長	<p>福田校長先生になって、水海道第一高校が特に色を打ち出しているところで具体的に何かありますか。</p>
高校教育課長	<p>人脈の広さという部分で、ベンチャー企業等の方々から生徒に直接お話をする機会を与えてくれ、社会の広がりをもたらして下さったと思います。</p> <p>校長先生が変わり、やり方は異なるかもしれませんが、いい方向に膨らませる、広げるということも考えられますので、そういう部分を継続して、いい方向に向かうように人選を考えていきたいと思っています。</p>
教育長	<p>補足になりますが、福田校長先生は、副校長の時から自分がいなくなった後も継続できる組織づくりを念頭に、外部をしっかりと入れるということが一番の柱に、特に探求活動の体制づくりと、県南、県西の境界線でTXも近い、東京にも非常に近い場所にある学校なので、中高一貫教育校による新たな進学体制づくりという2本をやっていたところでは、</p> <p>これは、県教育委員会として進めている中高一貫教育校の趣旨で、外部を入れて、特色ある学校づくりを行う、探求を6年の一貫教育の中でしっかりとやっていく、進学体制をしっかりと作っていくという理念に合うもので、そこは中庭委員が言われたように、高校教育課の方で、この後の選考においてしっかりと見ていきたいと思っています。</p>
幡谷委員	<p>民間の活力というキーワードですが、民間の、行政との一番の違いは縛られる法律があまりないという部分で、行政の場合はいろいろ法律が</p>

	<p>あり、さらに学校教育では、文科省など様々な縛りがある。</p> <p>それと予算ですね。予算がないとできないとか、予算を決めた後でなければ動けないとか、予算化するための様々な労力がありますが、民間はトライアンドエラーで、すぐにやって、すぐに答えを出す。やり続けるかもしれないし、やめるかもしれない。</p> <p>そんな民間の強みを活用するのであれば、ぜひ、民間出身の校長先生からいろいろヒアリングをしていただきたい。</p> <p>人事や予算はどうなっているとか、校長先生に権限がどれだけ委譲されているとか、その権限をどれだけ行使できるというものがないと、あれだけカリキュラムが決まっています、1年間の学校行事が決まっているわけですから、かなり大変だと思います。その中で何を組み合わせでどうやって時間を空け、その空いた時間に何をを入れるのか。</p> <p>校長先生の権限が確立され、それを行使できる法的な裏付けとか予算の裏付けとかがないと、あれもやりたいこれをやりたい、でもできない理由ばかり出てくるということになりかねないと思います。</p> <p>もし民間の活力というのであれば、その部分も十分検証をしていただきたい。もちろんアンケートを取るのもいいのですが、校長先生に何かお困りなのか、何かあればもっと突き進むことができるのかヒアリングをして、毎年重ねることでさらに、求める人物像に近づけていただきたい。民間出身だから何かというのはなかなか難しいところがあると思うので、ぜひをお願いしたいと思います。</p>
市原委員	<p>さすが一流の企業家として非常に多くの経験を積んでいらっしゃる幡谷委員のご意見だと思って聞いていました。</p> <p>いわゆる公立では、法律や規則がきちんと決まっています、勝手に取り払ったり、無視したりということは基本的にできないわけですよ。決められた規定の中で民間の発想ということになると、非常に限定されてしまう。ご本人たちもこういうことをやりたいとかいろいろあったとしても、公立という枠の中で難しいものがたくさんあると思います。</p> <p>この間、土浦第一高校の先生とお話しをしたら、こういうところに行ったらいいとか、こういうことをやったらいいと言うけれども、ちょっとできないですよみたいな言い回しをしていました。</p> <p>それともう1つ、せっかく何年も見てもらうわけですから、どこに問題があって、こういうところを改善しないとよくなるのか、そういう経験を伺って、できることを1つでも2つでも改善する取組をしていかないと、民間人校長になっても、活動が限定的な状況では、思ったような成果はでないのではないかという気はしました。</p>
富田委員	<p>限定された時間の中で、民間での経験を活用いただくということだと思うのですが、3年、4年といった期間が適当なのかどうか。これだけシステムが構築された中で、実力を発揮するにはもう少し時間がかかるのではないかと思います。</p> <p>その上で、任期4年間で今回水海道第一高校の校長先生はいろいろな取組をおやりになっているのだと思います。それはそれで評価いたしますけれども、ちょっと驚いたのは出向という形で来ていただいていたことで、私は応募した先生方は、それまでの仕事を離れて、ここに永久的</p>

	に仕事をする意気込みで応募なさってると思っていたんですが、最初から出向という形で来ていたということで、どれくらい取り組んでいただけるのかどうしても疑問を感じてしまいます。県として、出向という形を今後も認めていく方針なんでしょうか。
高校教育課長	はっきりと出向を認めますということではないのですが、回を重ねて経過として考えていく上で、そういう形もありますねと受け入れたというのが実際なところですよ。
富田委員	大学の例ですと、他から移る場合は、きちんと移籍していただくのが常になっております。少し考慮してもいいのかもしれませんが。
中田委員	先ほどの水海道第一高校の話はわかったのですが、水戸第一高校や土浦第一高校は更新することを決めてるから今回は公募しないということなのでしょう。 それと、更新のルールは何かあるのでしょうか。3年ないし4年では短いとは思いますが、逆に、何期でも更新できるようになると、交代の時期が非常に難しくなると思います。2期までとか何か決まりはあるんですか。ある程度決めた方がいいという気がします。
高校教育課長	まず水戸第一高校と土浦第一高校について、更新が決まっているわけではありません。仮に来年辞めますと言われたら、その時はその時で対応することになります。水海道第一高校については、辞められることが決まっているから今回公募するということになります。特に何期までといった更新のルールはございません。
学校教育部長	1回更新すれば当然また4年となりますので、長くやればさらによくなるかどうかということも見極めなければいけないところだと思います。しっかり見ていきたいと思えます。
中田委員	本人は残りたいけれど去ってもらわなければならないときなど、対応が難しくなると思うので、しっかり対応していただければと思います。 あともう1つ、先ほどの皆さんのお話が続くのですが、つくばサイエンス高校を視察したときに、工業高校だからできないということを何度も聞いたんですね。その枠をある程度撤廃しないと、結局その枠の中でしか民間の校長先生も行動できないということになると思います。
高校教育課長	今度普通科も3クラス入りますし、科学技術科3クラスということで、工業高校だからという部分については、かなり薄れていると思います。
教育長	具体的に何ができないとご説明したか詳細はわかりませんが、昨年度の校長先生に直接話していただいた経過からすると、工業に関する学科の縛りがある科学技術科ということで、工業科目を教育課程編成の中に入れるということがあるから、そういう意味で、縛りがきついというお話だったかと推察できるのですが。
市原委員	私たちが視察に行ってお話を伺ったときに、工業高校だからできないということを使って対応されていて、少し違和感がありました。 県の鳴り物入りでやろうとしていることに対し、現場がしっくりついていないのかなという雰囲気があり、せつかくサイエンスと名前がついた高校なのに、前向きによくしよう、もっといいものを目指していこうという雰囲気がちょっと感じられなかったような気がしたから、お話が

	出たと思うんです。
高校教育課長	普通科3クラス、科学技術科が3クラスになり、普通科というところで大学進学も視野に入れた教育課程になりますので、科学技術科を工業科の縛りで25単位というのは、普通科に関しては特にありません。
市原委員	応募が少ないとか、なかなかうまくいかないような現場の状況があったと思うんですよね。それについて、現場の声は教育委員会に伝わっていたんですかね。
高校教育課長	欠員が続いていることは重々承知をしておりますし、県教育委員会として、しっかりヒアリングに学校には行って、状況等を伺っておりました。
市原委員	現場の校長先生や先生方からは、ここが問題でやりたいことができないとか、もっとこうしたらよくなるとか、そういう前向きな意見や、こうして欲しいという要望の話は出てきていませんか。
高校教育課長	例えば、普通科を入れていくという部分は1つの改善策になります。現場から出てきた意見を含めて総合的に見て改善したところです。
教育長	科学技術科で工業に関する学科の縛りがあると、進学指導ができないのではないかという声に対して、進学単位を増やす時間割を取り、進学に対応できる状態にするということを学校とやりとりをしながら改善を図ったところであります。科学技術科であっても、進学体制は整えているという意味でございます。
審議結果	承認

(2) 非公開審議

発言者	発言内容
【協議1】	
令和6年度（令和5年度対象）教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	
教育企画室長	資料（非公開）に基づき説明 (非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。)
審議結果	承認

発言者	発言内容
【第15号議案】	
ミュージアムパーク茨城県自然博物館協議会委員の解任及び任命について	
文化課長	資料（非公開）に基づき説明 (非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。)
審議結果	承認

発言者	発言内容
【第16号議案】	
茨城県スポーツ推進審議会委員の任命について	
保健体育課長	資料（非公開）に基づき説明 (非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。)

審 議 結 果	承 認
---------	-----

発 言 者	発 言 内 容
【第 17 号議案】	
教職員の人事について	
教育 改革 課 長	資料（非公開）に基づき説明
（非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。）	
審 議 結 果	承 認

発 言 者	発 言 内 容
【第 18 号議案】	
教職員の人事について	
教育 改革 課 長	資料（非公開）に基づき説明
（非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。）	
審 議 結 果	承 認

発 言 者	発 言 内 容
【第 19 号議案】	
教職員の人事について	
教育 改革 課 長	資料（非公開）に基づき説明
（非公開審議の審議内容及び資料は公開されません。）	
審 議 結 果	承 認

3 閉 会

教育長が閉会を宣言した。